

授業計画書(シラバス)

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	数学	単位数	前期 後期	2
指導目標	建築に必要な数学の基礎を習得することを目標とする。 使用する単位、面積計算に必要な図形、力学計算に必要な三角比・関数計算とグラフの関係・指数計算ができるようにする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期						回数	後 期		
1	数について・整式の計算方法・建築で使う数学とは						1			
2	単位とその成り立ち						2			
3	比と比例について						3			
4	関数とグラフ						4			
5	一次関数						5			
6	"						6			
7	二次関数						7			
8	"						8			
9	指数法則と指数関数とは						9			
10	対数法則と対数関数とは						10			
11	図形について（幾何学）						11			
12	"						12			
13	三角比と三角関数とは						13			
14	"						14			
15	ベクトル（線形性）について						15			
16	論理と集合について						16			
17	試験対策						17			
18	テスト返却・解説						18			
19							19			
20							20			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア概論	単位数	前期	2
									後期	
指導目標	建築系の各分野で活躍されている方から業界の魅力を学び、自らの働く姿を想像し卒業後の目標を見つける手がかりとする。また、現場の実情なども知り社会的な課題と共に、今後の展望について技術者像をイメージするきっかけとする。									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1	オリエンテーション					1				
2	専門学校で学んでほしいこと					2				
3	講義1 業界の現状と展望					3				
4	講義2 社会人としての、コミュニケーションとプレゼンテーション					4				
5	講義3 家づくりの仕事					5				
6	講義4 インテリアスタイリング					6				
7	講義5 ユニバーサルデザイン・福祉住環境整備					7				
8	講義6 施工管理の仕事					8				
9	講義7 建築の設備					9				
10	講義8 照明のデザイン					10				
11	〃					11				
12	講義9 設計事務所におけるCGの活用					12				
13	〃					13				
14	講義10 BIMについて					14				
15	〃					15				
16	講義11 ショップデザインについて					16				
17	講義12 特別講義					17				
18	発表会・まとめ					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア計画	単位数	前期 後期	2
指導目標	日常生活と建築・インテリアとの関わりについて考えさせるとともに、建築・インテリア計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。生活空間のあり方を人間のサイズや行動からとらえたうえで、色、形、材質及び、その構成や、構造が及ぼす影響を理解し、創造的で豊かな建築・インテリアの計画を目指す姿勢を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築計画					1				
2	"					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	"					6				
7	"					7				
8	"					8				
9	"					9				
10	インテリア計画					10				
11	"					11				
12	"					12				
13	"					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	"					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築史 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	西洋建築（石の建築）と日本建築（木の建築）の歴史を全般的に学ぶことで、人間の暮らしと建築物、そして環境との関係性について知るきっかけとする。また、日本国内だけでなく世界の建築物を通して建築に対する見識を広げる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築史概論・茶室と数奇屋・近世の建築・民家					1				
2	近代建築の3大材料・現代建築					2				
3	近代建築					3				
4	エジプト・オリエント建築					4				
5	キリシア建築・ローマ建築					5				
6	初期キリスト建築・ビザンティン建築					6				
7	イスラム建築・ロマネスク建築					7				
8	ゴシック建築・ルネサンス建築					8				
9	〃					9				
10	バロック建築（リヴァイヴアル建築）					10				
11	〃					11				
12	古代神社建築・仏教建築					12				
13	〃					13				
14	古代の都市計画・住宅・浄土教の建築					14				
15	〃					15				
16	中世の神社・仏教建築					16				
17	試験対策					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	構造物（建築物）がいかに関っているのか、力はどうに働くのか、力学的な考え方の基礎を理解する。建築物がなぜこのような形をしているのか、どのように計画していくかを理解するための一歩目とする。以下の理解・習得を目標とする。 (1) 力の性質と表現方法を理解する (2) 力を分解することができる (3) 反力を、力のつり合いをもとに単一材と簡単なラーメン構造で求めることができる									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	構造力学とは何か？必要な算術、電卓の使い方					1				
2	力学の基礎（力とは、力のモーメント, 単位, 記号等）					2				
3	"					3				
4	力学の基礎（つり合い, 力の合成と分解）					4				
5	"					5				
6	構造物のモデル化, 荷重の種類					6				
7	"					7				
8	外力と反力（全般）					8				
9	"					9				
10	外力と反力（単純梁）					10				
11	"					11				
12	外力と反力（片持ち梁）					12				
13	"					13				
14	外力と反力（張り出し梁）					14				
15	"					15				
16	外力と反力（単純ラーメン）					16				
17	試験対策					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造Ⅰ	単位数	前期 後期	2
指導目標	木構造の基本的な組み方と部材を性質とともに理解し、「建築インテリア基礎製図演習」と連動して、図面を描いたり設計をする際の基礎知識を養う。二級建築士受験の上でも科目の１つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	総説・建築構法の変遷 ・建築構造の分類					1				
2	木構造の概要					2				
3	木構造を構成する各部材 ・木材の性質					3				
4	軸組・土台・柱					4				
5	桁・胴差					5				
6	筋違・火打・貫・間柱					6				
7	地付床（１階床組）					7				
8	〃					8				
9	上階床（１階床組・２階床組）					9				
10	〃					10				
11	基礎・軸組・床組／断面算定					11				
12	小テスト 小屋組の考え方 ・寄棟屋根のかけ方					12				
13	天井・壁・床					13				
14	〃					14				
15	階段					15				
16	床の間回り・床脇・書院					16				
17	〃					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリア基礎製図演習	単位数	前期	8
									後期	
指導目標	木造における基本的な設計図書一式（平面図・立面図・断面図・矩計図・展開図・伏図・仕上表）のトレースを通じて、線の描き方から図面として記載すべき項目や描き方の決まりごと等の基本的な製図技法を身に付け、覚える。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス・製図道具の説明					1				
2	基本技法の練習 線・文字・数字の練習					2				
3	〃 表示記号					3				
4	木造2階建住宅 写図 平面図（1階）					4				
5	平面図（2階）					5				
6	〃					6				
7	断面図					7				
8	〃					8				
9	立面図					9				
10	〃					10				
11	伏図					11				
12	〃					12				
13	矩計図					13				
14	〃					14				
15	二級建築士製図試験写図					15				
16	展開図					16				
17	〃					17				
18	構造（軸組）模型					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	I Tリテラシー	単位数	前期 後期	2
指導目標	パソコンの起動、終了、保存、マウス・キーボード操作、基本用語、PC各部の名称などの基本を学び、MicrosoftOfficeの操作を習得する。また、インターネットを活用する上での安全な使い方や、分析して活用する能力を身に着ける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	パソコン基礎 パソコン初期設定・Officeインストール					1				
2	word基本					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	"					6				
7	excel基本					7				
8	"					8				
9	"					9				
10	"					10				
11	"					11				
12	PowerPoint基本操作					12				
13	"					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	プレゼンテーション課題					16				
17	"					17				
18	発表					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリアデザイン演習	単位数	前期 後期	4
指導目標	建築・インテリアの職業に就くために必要な「空間」づくりの基本を学ぶことを目的とする。 課題を通して、以下の力を身に着けることを目標とする。 （１）色が与えるイメージや基本的な色の構成を理解する （２）空間創造のコンセプトワークによって、イメージを具体的な空間に落とし込む能力を養う （３）模型を制作する基本的な技術と表現力を身につける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	美しい形をつくらう					1				
2	色相環					2				
3	色彩構成					3				
4	5Mキューブ 課題の説明		模型制作の練習			4				
5	5Mキューブ テーマとコンセプトの立案					5				
6	"					6				
7	"					7				
8	"					8				
9	5Mキューブ エスキス					9				
10	"					10				
11	"					11				
12	"					12				
13	5Mキューブ 作図・模型製作					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	"					16				
17	発表					17				
18	発表・講評					18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング演習Ⅰ	単位数	前期 後期	4
指導目標	デッサンや着色、透視図等の基本的な表現技法を学ぶことで、プレゼンテーションで使える様々な表現方法を習得する。立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	似顔絵デッサン					1				
2	似顔絵デッサン 発表					2				
3	デッサン基礎（グレースケールと立方体）					3				
4	デッサン基礎（ビール瓶と空き缶）					4				
5	〃					5				
6	アイソメ・アクソメ					6				
7	〃					7				
8	〃					8				
9	グリッド					9				
10	〃					10				
11	〃					11				
12	1点透視					12				
13	〃					13				
14	〃					14				
15	2点透視					15				
16	〃					16				
17	〃					17				
18	課題提出					18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

[illegible]

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	住居学	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	はじめに、戸建て住宅の設計に必要な基礎的な知識を学び、「建築製図演習」で実践することで住宅設計の基礎を習得できるようにする。そして、住まいをとりまく日本の歴史的背景や現代の社会問題を知り、住宅に携わる者としての見識を広く持てるようにする。また、人間の体の仕組みや高齢者についても知り、適切な住まいの空間設計ができるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	はじめに／住まうとは			
2						2	住生活のありかた			
3						3	"			
4						4	住生活のための人間工学			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	住まいの設計と表現技法			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	高齢者の身体特徴と住まいの各部計画			
11						11	"			
12						12	"			
13						13	様々な家族形態と住まい			
14						14	エコ住宅とは			
15						15	現代の住宅に関する社会問題			
16						16	"			
17						17	"			
18						18	テスト返却・解説			
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	RC造、S造の基本的な仕組みを理解し、それぞれの建物の特徴や違いを知ることで建築に対する視野を広げる。また、住宅においてもRC造やS造が用いられることを踏まえて、設計に生かせる基礎的な知識を養う。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　　　期					回数	後　　　期			
1						1	R C 造 R C 造の特徴			
2						2	主体各部の構造			
3						3	〃			
4						4	基礎構造			
5						5	〃			
6						6	R C の材料			
7						7	〃			
8						8	柱・梁の配筋			
9						9	〃			
10						10	壁式構造の特徴			
11						11	S 造 S 造の特徴・構造概要			
12						12	主体各部の構造			
13						13	接合方法			
14						14	溶接の種類・基礎構造・その他の構造			
15						15	まとめ			
16						16	テスト説明・復習			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築施工Ⅰ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	建築物の基本的な施工方法や工事現場の業務を理解し、施工の場面も想像して住宅のデザインができるようになることを目標とする。建築施工Ⅰでは、建築物の基礎が完成するまでを理解できることとする。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	建築施工概要			
2						2	施工計画Ⅰ			
3						3	施工計画Ⅱ			
4						4	地盤			
5						5	"			
6						6	仮設工事Ⅰ			
7						7	仮設工事Ⅱ			
8						8	仮設工事Ⅲ			
9						9	土工事			
10						10	"			
11						11	杭工事			
12						12	"			
13						13	鉄筋工事Ⅰ			
14						14	"			
15						15	鉄筋工事Ⅱ			
16						16	"			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工Ⅱ	単位数	前期 後期	2
指導目標	建築施工Ⅰに引き続き、建築物の基本的な施工方法や工事現場の業務を理解する。 建築施工Ⅱでは、理解が難しい鉄骨工事と外装の様々な仕上げについての施工方法を理解することを目 標とする。二級建築士受験の上でも科目の１つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも 取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	鉄骨工事					1				
2	〃					2				
3	コンクリートブロック工事					3				
4	ＡＬＣパネル工事					4				
5	防水工事					5				
6	〃					6				
7	左官工事					7				
8	〃					8				
9	タイル張り工事					9				
10	〃					10				
11	石張り工事					11				
12	〃					12				
13	建具工事					13				
14	ガラス工事					14				
15	断熱工事・塗装工事					15				
16	まとめ					16				
17	テスト説明・復習					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	構造力学Ⅰで習得した考え方を基本とし、応力について理解することを目指す。 また、構造力学Ⅲで習得する応力度の考え方の基本として、断面に関する数値と性質について学ぶ。具体的には以下を習得することを目指す。 (1) 部材の内部に生じる力（応力）を理解し、応力の求め方と応力図の基本的な描き方を身に着ける。 (2) トラス構造の基本を理解し、トラスの軸方向力（応力）を求める力を身に着ける。 (3) 断面の性質を理解し、図心、断面二次モーメント、断面係数を求める力を身に着ける。 また、二級建築士受験の上でも出題範囲となるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	反力の復習			
2						2	応力の求め方・応力図の描き方			
3						3	"			
4						4	"			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	トラス構造の解法			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	"			
11						11	"			
12						12	"			
13						13	断面に関する数値と性質			
14						14	"			
15						15	"			
16						16	"			
17						17	"			
18						18	テスト返却・解説			
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	構造力学Ⅲ	単位数	前期	2
									後期	
指導目標	以下について、考え方を理解した上で基礎的な計算ができること目標とし、二級建築士受験を想定した問題にも取り組む。 (1) 応力度を理解し、許容応力度から部材の安全性を判定できる力を身に着ける。 (2) 部材の形状と座屈・たわみの関係を理解し、座屈荷重や座屈長さ、たわみの大きさについて大小を比較検証できる力を身に着ける。 (3) 弾性と塑性について理解し、崩壊荷重を求められる力を身に着ける。 (4) 不静定構造物について、基礎的な解法を理解する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	応力度					1				
2	応力度					2				
3	応力度					3				
4	部材と座屈					4				
5	部材と座屈					5				
6	静定構造物と不静定構造物					6				
7	静定構造物と不静定構造物					7				
8	静定構造物の解法					8				
9	静定構造物の解法					9				
10	静定構造物の解法					10				
11	不静定構造物の解法					11				
12	不静定構造物の解法					12				
13	不静定構造物の解法					13				
14	弾性と塑性・塑性設計の概念					14				
15	弾性と塑性・塑性設計の概念					15				
16	弾性と塑性・塑性設計の概念					16				
17	試験対策					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	環境工学	単位数	前期 後期	2
指導目標	室内の環境設計に必要な空気、熱、光、音等の環境要素について、人間や建築物に関わるものを中心として、物理的な考え方を基礎から学ぶ。また、それらの知識を生かした具体的な設計事例を知ることによって理解を深め、演習課題で知識を活用できるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	気候（１）概論					1				
2	伝熱と結露（１）伝熱					2				
3	伝熱と結露（２）空気線図					3				
4	伝熱と結露（３）結露					4				
5	換気と通風（１）自然換気					5				
6	換気と通風（２）機械換気					6				
7	日照と日射（１）					7				
8	日照と日射（２）					8				
9	採光・照明					9				
10	色彩（１）					10				
11	色彩（２）					11				
12	色彩（３）					12				
13	音環境（１）					13				
14	音環境（２）					14				
15	音環境（３）					15				
16	まとめ					16				
17	テスト説明・復習					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	住宅デザイン史	単位数	前期 後期	2
指導目標	近代住宅の発展過程と設計理論から、住まいに影響を及ぼす時代背景やデザインの意図をひも解くことによって、これからの住まいのあり方を主体的に考えていくための創造力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	外国人居留地と西洋館					1				
2	上流階級の住まいとその近代化					2				
3	中流階級の住宅と和洋折衷のデザイン					3				
4	日本人建築家の住宅設計とヨーロッパの影響					4				
5	住宅改良運動					5				
6	都市政策と住宅地・田園都市 都市の住まいと集合住宅・同潤会					6				
7	〃					7				
8	スパニッシュスタイル・F．Lライトの影響					8				
9	「新日本住宅」の試み					9				
10	国際建築様式の導入・コルビュジェの住宅					10				
11	戦時下における住宅政策・国民住宅・戦後の住宅の工業化					11				
12	〃					12				
13	集合住宅とニュータウン計画・都市型住宅					13				
14	〃					14				
15	住宅の商品化・輸入住宅 民間マンション・現代の住まい					15				
16	まとめ					16				
17	テスト説明・復習					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規Ⅰ	単位数	前期	2
									後期	
指導目標	建築基準法の読み方・引き方を理解し、主に住宅設計にどのように影響するのか、基本的な規定（単体規定）を理解する。また、演習を通じて実務でも対応できる力の習得につなげる。二級建築士受験の上でも科目の１つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築法規の概要					1				
2	建築基準法（用語の定義）					2				
3	"（用語の定義）					3				
4	"（面積の算定）					4				
5	"（面積の算定）					5				
6	"（高さ・階数の算定）					6				
7	"（集団規定の概要）					7				
8	"（用途地域と用途制限）					8				
9	"（道路と敷地）					9				
10	"（道路と敷地）					10				
11	"（容積率）					11				
12	"（建ぺい率）					12				
13	"（高さ制限の概要）					13				
14	"（隣地斜線）					14				
15	"（北側斜線）					15				
16	"（日影規制・天空率）					16				
17	まとめ					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	建築基準法及び関係法令について、建築法規Ⅰに引き続き、基本的な規定（集団規定）を理解すると共に、演習を通じて能力を養うことで実務でも対応できる力の習得につなげる。二級建築士受験の上でも科目の１つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　　　期						回数	後　　　期		
1							1	建築基準法（一般構造1）		
2							2	" （一般構造2）		
3							3	" （一般構造3）		
4							4	" （防火関係用語）		
5							5	" （避難施設）		
6							6	" （内装制限）		
7							7	" （耐火建築物）		
8							8	" （準耐火建築物）		
9							9	" （防火地域・準防火地域）		
10							10	" （防火区画）		
11							11	" （構造関係規定）		
12							12	" （構造関係規定）		
13							13	" （制度規定）（工事現場の安全）		
14							14	" （制度規定）（工事現場の安全）		
15							15	関係法令		
16							16	"		
17							17	テスト返却・解説		
18							18			
19							19			
20							20			
備考										

[illegible]

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築材料	単位数	前期 後期	
										2
指導目標	建築に使われる材料の知識を幅広く全般的に理解し、卒業制作にも活かすことを目標とする。 材料の特徴を踏まえた上で内装材まで丁寧に選び、説得力のある作品づくりに励むことを期待する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　　　期					回数	後　　　期			
1						1	概要・木材			
2						2	"			
3						3	"			
4						4	コンクリート			
5						5	"			
6						6	鋼材・非鉄金属材料			
7						7	"			
8						8	内装材料(床・壁・天井)			
9						9	外壁パネル・カーテンウォール			
10						10	左官材料			
11						11	石材			
12						12	プラスチック			
13						13	塗料・接着剤			
14						14	ガラス・陶磁器			
15						15	防水材料・シーリング材・防火・断熱・防音材料			
16						16	卒業制作の仕上げ表作成			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築・住宅設備	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	住宅における「設備」とは何かを理解し、建築一般の設備の役割および種類・構成を学ぶ。また、地球環境問題と建物の省エネルギーとの関わりについて理解し、社会情勢を踏まえた住宅のあり方を考えられるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　　　　期					回数	後　　　　期			
1						1	建築設備とは/給水設備			
2						2	"			
3						3	給湯設備			
4						4	ガス設備・消火設備			
5						5	排水通気設備			
6						6	排水処理設備・衛生器具設備			
7						7	空気調和設備とは/空気調和と室内環境			
8						8	"			
9						9	空気の状態・空気線図			
10						10	空調負荷・空気調和方式・熱源方式			
11						11	空気調和機器と部材			
12						12	換気・排煙設備			
13						13	電気設備とは/受変電・幹線設備			
14						14	"			
15						15	照明・コンセント設備			
16						16	情報・通信設備、搬送設備			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

[illegible]

[illegible]

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分		演習	科目	CAD演習Ⅰ	単位数	前期	
										後期	4
指導目標	建築業界で使用されているCAD・BIMソフトの操作性を学ぶことを目的とし、課題としてRC造・木造の図面の表現方法を学ぶことを目標とする （１）製図の授業で学んだ表現方法を基本に、CAD・BIMソフトを使った図面作成技術を習得する （２）CAD・BIMは、あくまで図面を作成する１つの手段であることを理解し、CAD・BIMの特性を学ぶ （３）RC造・木造の図面の表現方法を学ぶ										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指　導　内　容											
回数	前　　　　 期						回数	後　　　　 期			
1							1	インストール			
2							2	基本操作①			
3							3	基本操作②			
4							4	基本操作③			
5							5	基本操作④			
6							6	図面を描く（RC造）			
7							7	〃			
8							8	〃			
9							9	〃			
10							10	〃			
11							11	図面を描く（木造）			
12							12	〃			
13							13	〃			
14							14	〃			
15							15	〃			
16							16	レイアウト・プリントアウト			
17							17	チェックバック・最終提出			
18							18				
19							19				
20							20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学 科	住宅デザイン科	学 年	1	区 分	演習	科 目	インテリアスタイリング演習	単位数	前期	
									後期	4
指導目標	住まいのインテリアをコーディネートするためのスキルと知識を養うことを目的とし、住空間を構成する様々な素材（エレメント）と住まい手の関わりについて、的確にとらえる力を身に着けることを目標とする。その中で、お客様のライフスタイルの分析方法を学び、お客様の人物像に合った提案ができる力を培う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　　　　　期					回数	後　　　　　期			
1						1	オリエンテーション、コーディネート体験			
2						2	スタイリングを学ぶ			
3						3	MY ROOM STYLING 製作（ボード作成）			
4						4	スタイリングボード制作			
5						5	スタイリングボード制作			
6						6	スタイリングボード制作			
7						7	スタイリングボード制作			
8						8	スタイリングボード制作			
9						9	ミラタップコンペ説明　コンセプトを考える			
10						10	ミラタップコンペ商品コーディネート			
11						11	ミラタップコンペ図面ボード作成			
12						12	ミラタップコンペ図面ボード作成			
13						13	ミラタップコンペ模型製作			
14						14	ミラタップコンペ模型製作			
15						15	ミラタップコンペ模型製作			
16						16	ミラタップコンペ模型製作			
17						17	プレゼンテーション			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	デジタルプレゼンテーション演習	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	住まいの提案を行う際に必要な色彩・レイアウトなどのグラフィックデザインの基礎を学び、建築・インテリアのプレゼンテーションにおけるボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得することを目指す。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。 課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	基本操作 Photoshop			
2						2	〃			
3						3	〃			
4						4	基本操作 Illustrator			
5						5	〃			
6						6	〃			
7						7	名刺作成①			
8						8	名刺作成②			
9						9	名刺作成③			
10						10	名刺作成④			
11						11	名刺作成⑤			
12						12	ポートフォリオ作成①			
13						13	ポートフォリオ作成②			
14						14	ポートフォリオ作成③			
15						15	ポートフォリオ作成④			
16						16	ポートフォリオ作成⑤			
17						17	ポートフォリオ作成⑥			
18						18	ポートフォリオ作成⑦			
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	設計演習Ⅰ	単位数	前期	
									後期	4
指導目標	住まいのアイデアが形となって完成するまでの設計プロセスに注目し、一般的な住戸の形式にとらわれず、空間を自由に発想することで、住宅デザインの軸となる設計力を養う。また、設計したものをコンペに応募する状況を想定して、作品として伝えることを意識した見せ方を学ぶ。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	設計課題Ⅰ（自分の住まい） 課題説明・設計の進め方			
2						2	エスキス 作 図			
3						3	作品評価・発表会			
4						4	設計課題Ⅱ（最小限住宅） 課題説明・設計の進め方			
5						5	エスキス			
6						6	作 図			
7						7	作 図			
8						8	作品評価・発表会			
9						9	設計課題Ⅲ（アトリエのある住まい） 課題説明・実例研究			
10						10	エスキス			
11						11	エスキス			
12						12	作 図			
13						13	作 図			
14						14	作 図			
15						15	作 図			
16						16	発表会・作品評価			
17						17	発表会・作品評価			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	設計演習Ⅱ	単位数	前期 後期	8
指導目標	1、マンションの1室を改装することを想定した実務に沿った課題を通して、以下のスキルを習得することを目指す。 ・現地調査の手順 ・白図の描き起こし ・ターゲット(住み手) を想定したテーマ設定 ・改装の際の注意点を踏まえた計画 ・室内環境を意識した仕上げの検討 ・提案ボードの作成からプレゼンテーション 2、集合住宅1棟の設計課題を通して、以下のスキルを習得することを目指す。 ・集合住宅の住まいとしての特徴を理解する ・集合住宅に必要な諸室や各部計画について理解する ・1年次に習得した製図技法を応用して、自らの計画したものを基本図（配置図・平面図・立面図・断面図）として表現する									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	【デコルームコンペ】 エスキス					1				
2	エスキス					2				
3	BIMモデル作成					3				
4	〃					4				
5	〃					5				
6	〃					6				
7	図面のまとめ・発表用PP作成					7				
8	【共同の住まい】要項説明・エスキス					8				
9	エスキス					9				
10	〃					10				
11	〃					11				
12	〃					12				
13	BIMモデル作成・作図					13				
14	〃					14				
15	〃					15				
16	〃					16				
17	〃					17				
18	発表会・提出					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	エクステリアデザイン演習	単位数	前期 後期	4
指導目標	エクステリア（外構）について、道路から玄関までのアプローチ、塀やカーポートに至るまで、庭を含めた住宅まわりの計画手法から表現方法までを学ぶ。利便性だけでなく、いかに美しくデザインするか、人間と自然との関係や住宅と周辺環境との関係を考えたデザインとはどのようなものかを追求する。また、提案する際の表現方法としてパースやプラン図の描き方の基本を、演習課題をとおして習得することを目標とする。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	エクステリアデザインの概要・事例紹介 マテリアルセレクト①（カタログ商材選定）					1				
2	マテリアルセレクト② サンプルに触れる・外構プランを自由に考えてみる					2				
3	課題１　住宅の外構設計　（要項説明・エスキス）					3				
4	〃　　　　　（エスキス）					4				
5	〃　　　　　（発表・提出）					5				
6	グリーン実習					6				
7	課題２　住宅の外構設計　（要項説明・エスキス）					7				
8	〃　　　　　（エスキス）					8				
9	〃　　　　　（発表・提出）					9				
10	課題３　住宅の外構設計　（要項説明・エスキス）					10				
11	〃　　　　　（エスキス）					11				
12	〃　　　　　（エスキス）					12				
13	〃　　　　　（発表・提出）					13				
14	課題４　住宅の外構設計　（要項説明・エスキス）					14				
15	〃　　　　　（エスキス）					15				
16	〃　　　　　（エスキス）					16				
17	校外学習（ショールーム見学）					17				
18	〃　　　　　（発表・提出）					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	福祉住環境リフォーム演習	単位数	前期	4
									後期	
指導目標	住宅では、時と共に住みづらくなる事例が様々ある。授業では、どのような事例が考えられるのかを学ぶと共に、どのようにリフォームをすれば豊かで安心できる生活ができるのかを考えていく。バリアフリーの考えに基づいた居住空間や、ユニバーサルデザインなどといった福祉の観点から住まいづくりができる力をリフォームプランの制作課題を通して身に着けることを目標とする。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1	バリアフリーケーススタディ①					1				
2	バリアフリーケーススタディ②					2				
3	バリアフリーケーススタディ③					3				
4	バリアフリーケーススタディ④					4				
5	住宅リフォームケーススタディ①					5				
6	住宅リフォームケーススタディ②					6				
7	住宅リフォームケーススタディ③					7				
8	住宅リフォームケーススタディ④					8				
9	増築プラン①					9				
10	増築プラン②					10				
11	ショールーム見学					11				
12	修了制作課題 課題説明					12				
13	課題作成					13				
14	〃					14				
15	〃					15				
16	〃					16				
17	〃					17				
18	修了制作課題 発表					18				
19						19				
20						20				
備考										

学 科	住宅デザイン科	学 年	2	区 分	演 習	科 目	C A D演習Ⅱ	単 位 数	前期	4
									後期	
習 得 目 標	設計演習Ⅱと連動した科目として位置づける。CAD演習で培った基礎的な操作方法を元に、設計演習Ⅱの作品をBIMモデルで作成することを課題とする。これまでに手描きで習得した基本的な図面表現・パース表現を、次のステップとして、BIMソフトを使って自由に表現できる力へ発展させることを目標とする。ソフトの習得にあたっては、自ら積極的に使い方を試す姿勢や、分からない操作方法があった場合にも質問したり調べる姿勢を期待する。									
評 価 方 法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
実 施 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	【デコルームコンペ】 エスキス					1				
2	エスキス					2				
3	BIMモデル作成					3				
4	〃					4				
5	〃					5				
6	図面のまとめ・発表用PP作成					6				
7	【共同の住まい】 要項説明・エスキス					7				
8	エスキス					8				
9	〃					9				
10	〃					10				
11	〃					11				
12	〃					12				
13	BIMモデル作成・作図					13				
14	〃					14				
15	〃					15				
16	〃					16				
17	〃					17				
18	発表会・提出					18				
19						19				
20						20				
備 考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

[illegible]

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分		科目	プレゼンテーション演習	単位数	前期 後期	4
指導目標	自分の考えを他者にうまく伝えるという事は、どんな業務においても重要である。授業では、特に建築実務における様々な場面でのプレゼンテーションを想定した課題を実践し、卒業制作のプレゼンテーションボード作成から発表方法までを検討する場とする。プレゼンテーションにおける目標は以下とする。 ・声の大きさ、スピード、トーン、表情、ボディランゲージ、目線まで考えて話ができる ・伝わりやすさを考慮したスライドデザイン(文字の大きさ・色・レイアウト・イラストやパース等を効果的に使う工夫) ・話の流れを意識したスライドの順番、発表時間の調整ができる ・場面や相手の立場に応じた伝え方を考えられる ・熱意を持って「伝えたい」と心から思うこと									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　　　　 期						回数	後　　　　 期		
1							1	オリエンテーション「プレゼンテーションとは」 課題説明		
2							2	プレゼンテーションに必要な資料とは		
3							3	建築の表現技法		
4							4	建築の実務プレゼンテーションを知る		
5							5	卒業制作中間発表に向けたプレゼンテーション技術		
6							6	〃		
7							7	建築の表現技法		
8							8	建築の表現技法		
9							9	課題① 卒業制作プレゼンボード作成		
10							10	〃		
11							11	課題② 卒業制作発表用パワーポイント作成		
12							12	〃		
13							13	〃		
14							14	課題①②提出・チェックバック		
15							15	卒業制作科内発表に向けたプレゼンテーション技術		
16							16	〃		
17							17	〃		
18							18			
19							19			
20							20			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分		演習	科目	照明デザイン演習	単位数	前期	
										後期	2
指導目標	照明が空間へもたらす効果や心理面への影響を理解した上で、器具についての基礎知識から選定の基準、住宅における配灯計画の手法を学ぶ。また、住宅の照明計画の課題を通して、設計実務の基礎能力を高めることを目標とする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指　導　内　容											
回数	前　　　　　期						回数	後　　　　　期			
1							1	「照明」について			
2							2	〃			
3							3	照明器具（ショールーム見学）			
4							4	〃			
5							5	〃			
6							6	照明器具（ショールーム見学会）			
7							7	〃			
8							8	住宅の照明計画について			
9							9	〃			
10							10	〃			
11							11	課題：住宅の照明計画			
12							12	〃			
13							13	〃			
14							14	課題：住宅の照明計画			
15							15	〃			
16							16	〃			
17							17	各自ショールーム見学、レポート提出			
18							18				
19							19				
20							20				
備考											

[illegible]

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分		演習	科目	古民家リノベーション演習	単位数	前期	
										後期	2
指導目標	伝統的な建築物には、その土地土地の気候や時代背景に加え、多くの知恵と工夫が詰まっている。それらをひも解き、現代の住宅設計にも生かせる考え方や優れたデザインを発見することを期待する。また、伝統的な木造住宅における歴史・工法・材料・道具等について学び、見学や演習を通して伝統的な木造住宅の特徴を理解することを目指す。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期						回数	後 期			
1							1	オリエンテーション			
2							2	伝統木造と現代木造の違い			
3							3	"			
4							4	"			
5							5	"			
6							6	古民家の解体から修理、組み立てまで			
7							7	"			
8							8	"			
9							9	大工道具と伝統工法（見学）			
10							10	木と自然素材のはなしとエコリフォーム			
11							11	"			
12							12	"			
13							13	"			
14							14	"			
15							15	野帳図の描き方と住宅（見学・演習）			
16							16	"			
17							17	"			
18							18				
19							19				
20							20				
備考											